

【科学技術イノベーションによる日本再生のための日本型モデルの構築（新「明日に架ける橋」）
 大学等の革新的技術の事業化による新マーケット創出
大学発新産業創出拠点プロジェクト】

参考資料1

平成24年度予算額：1,300百万円
 （新規）

現状認識・課題

- 産業構造の代謝停滞(企業の廃業率>開業率)
- 大学等の優れた基礎研究成果の死蔵
- リスクを取らない文化と起業精神の停滞

世界トップクラスの日本の基礎研究 研究の「死の谷」 シェンバー
 リスクマネー滞留

【企業の開業・廃業率の推移(企業数ベース)】

廃業率>開業率

出展：事業所・企業統計調査(総務省)

【国内投資における地域別投資状況】

新規投資先が東京に集中し、地域に新たな産業集積地が出てきにくい状況

新規投資の約5割が東京に集中

東京	東京以外	韓国等
49.5%	37.3%	13.2%

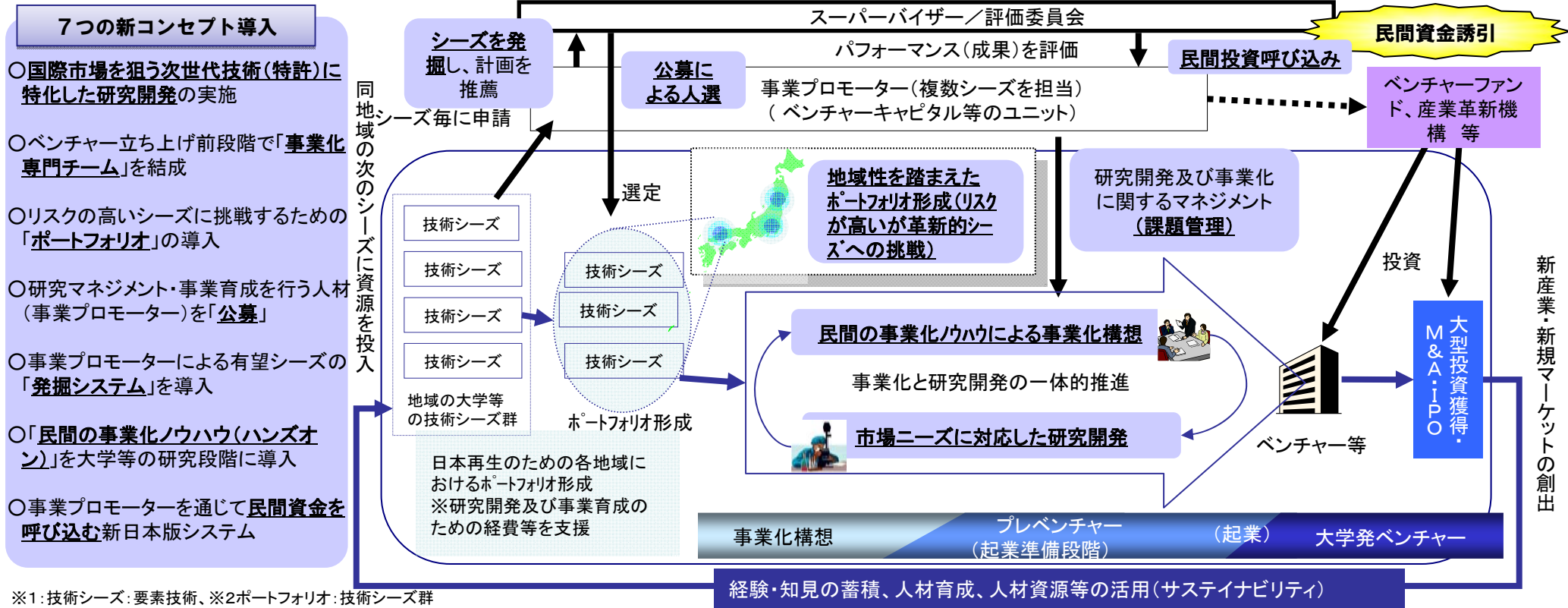
出展：平成21年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査

政策

○「日本再生のための戦略に向けて」(平成23年8月5日閣議決定)
新産業の芽を育てるため、産官学連携や起業・創業への支援、ベンチャー起業の成長促進に向けた環境整備を図る。

民間の事業化ノウハウを活用した大学の次世代技術の研究開発による新産業・新規市場の開拓と日本経済の復興・再生

発明(特許)の段階から、**大学の革新的技術の研究開発支援**と、チームによる**事業育成を一体的に実施**し、新産業・新規市場のための**大学発日本型イノベーションモデル**を構築(経験・知見の蓄積、人材育成等による持続的なイノベーションモデルを構築)



※1: 技術シーズ: 要素技術、※2ポートフォリオ: 技術シーズ群